

2021-22 年度 六甲部活動方針
～寄り添い、分かち合い、『三方よしで、みんな笑顔』～

六甲部部长 大野智恵

もともと『メネット』としてワイズメンズクラブの活動のお手伝いをしていた私が、そのメネット事業をきっかけに時を経て『部長』という役割をお受けすることになりました。人生何が起こるかわからない、というのは今まで何度か経験していますが、そのトップ3に入るくらいの出来事です。2013年11月に入会した後、会長や主査のお仕事はさせていただきましたが、まさか部長までさせていただくことになるうとは思っていませんでした。「私に務まるのか」との不安で、一時かなり落ち込みました。しかし、なんとかその時期も脱出でき、今では、これは自分の人生において意味のあることだと納得させ前を向いて進んで行こうとしています。経験浅い未熟な者がこの立場に置かれたピンチをチャンスに変えるためには、皆様のお支えをいただきながら一つ一つ目の前の事に取り組み自分ができる努力をするしかないと思っています。

今年3月、被災地支援プログラムで～被災地と心で繋がろう～「揚がれ、希望の凧」の活動をしていた時、風がやんで凧が落ちそうになりました。その時に、無理をせずゆっくりと糸をコントロールしていましたが、良い風が吹いてきてまた空高く凧が揚がっていきました。新型コロナの影響により今までのような活動ができず困惑され大変な思いをされたクラブがあると思います。また、なかなか暮らしが元に戻らず不安な思いをされたメンバーもおられることでしょう。しかし、諦めずにその状況に合わせて最善を尽くしていると、きっとゆっくりとでも良い風が吹いてきます。今年をワイズメンズクラブ活動のリハビリの年と捉え、無理はせず、かといって怠らず、丁寧に活動を進めていきましょう。コロナ禍で学んだことは、きっとこれからのワイズメンズクラブの活動に活かされると信じています。

2021-22年度は、ワイズメンズクラブ創設100周年を迎えます。この節目の年に、六甲部全体でそのお祝いをする事業を企画しています。皆さんの思いを一つにし、ワイズメンズクラブの更なる発展を願うその記念となる一年にしていけたらと思います。

また、西日本区理事の方針にもあるように、各クラブが良い人間関係を元に、充実した活動を展開していくことで魅力あるクラブとなり、それが新しい仲間を増やすことに繋がっていきます。クラブや部、区で協力しあい交流も深めて繋がり、ワイズメンズクラブの力を大きくすることで活動が更に充実し、また人が集まってくる、という良い循環を生み出したいものです。

六甲部各クラブの会長・主査の皆さんと、また西日本区の理事・主任・各部長の皆さんと繋がって、それぞれの情報がきちんと行き渡り、またクラブメンバーの意見も吸い上げて何らかの形で対応できる、部長はそのパイプ役になれたらいいのではないかと考えます。

「100%を目指さないでいいのですよ。」と言ってくださる方があり、随分気持ちが楽になりました。自ら学びまた経験豊かな先輩方にご指導をいただきながら、地域社会、YMCA、ワイズメンズクラブみんなが幸せになれることを願い、皆さんと力を合わせて私も笑顔で一年間部長のお役を務めさせていただきたく存じます。どうぞよろしく願いいたします。